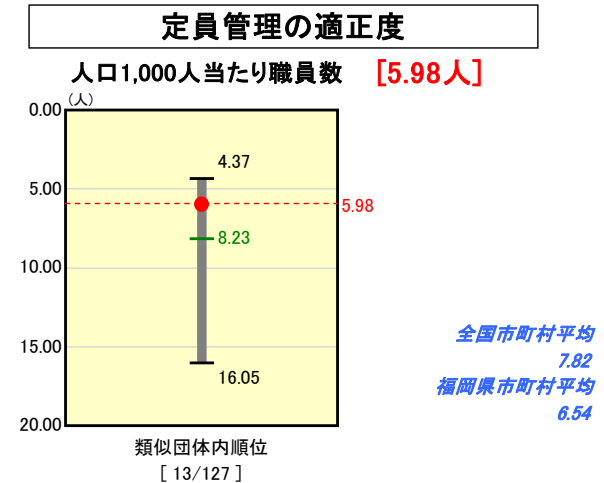
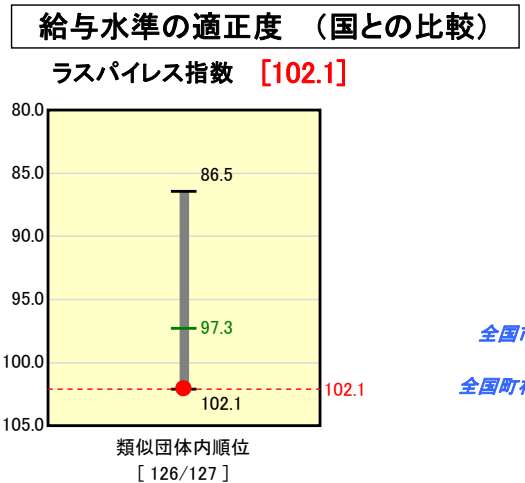
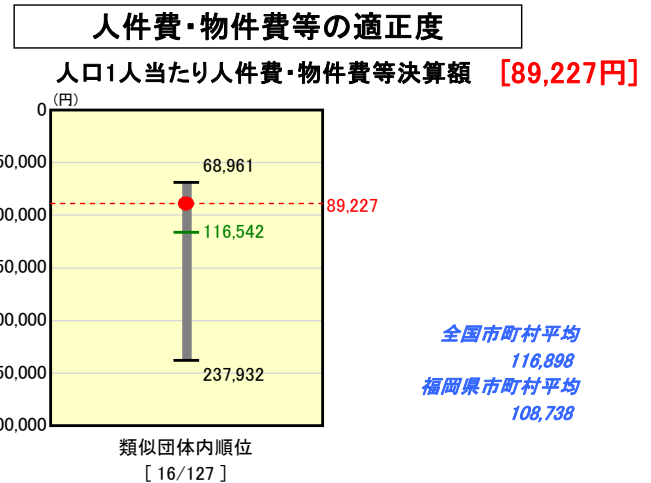
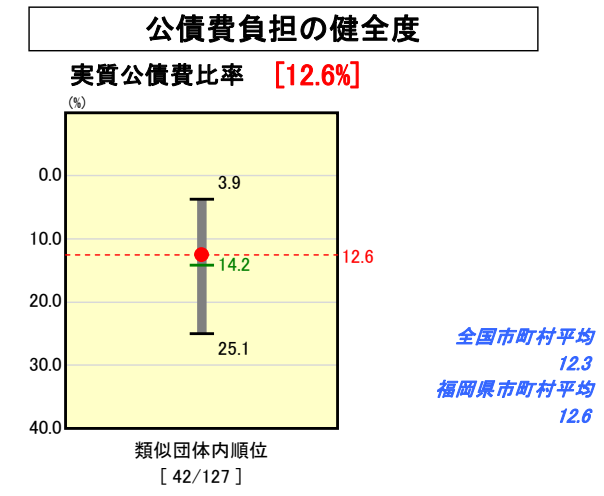
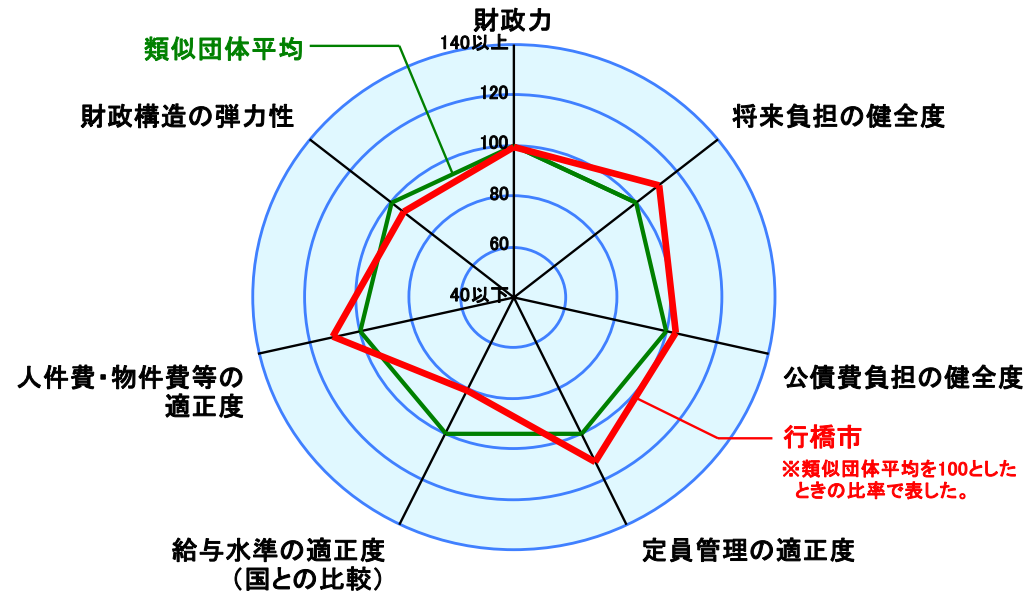
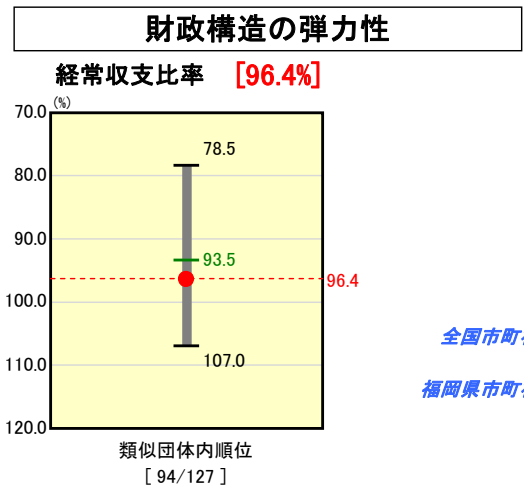
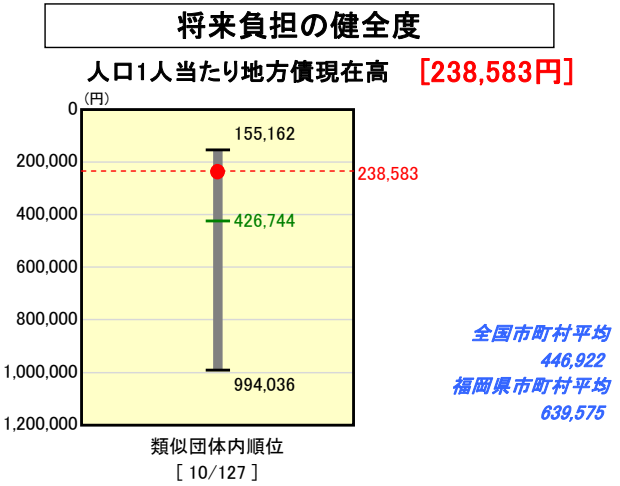
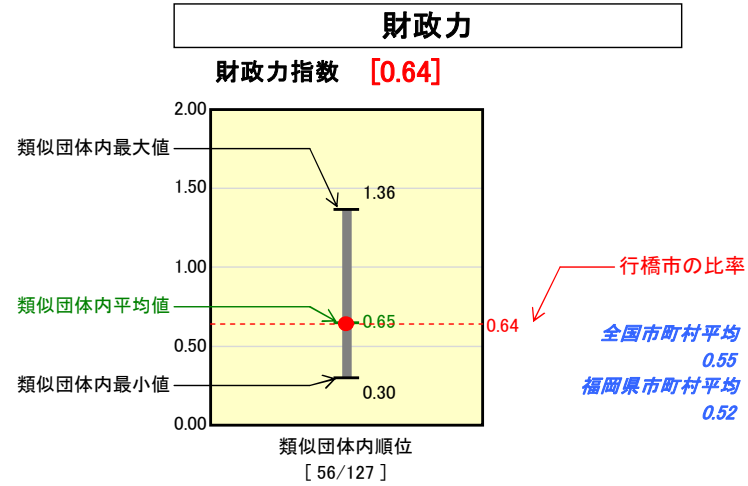


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 行橋市

人口	71,852 人	(H20.3.31現在)
面積	69.83 km ²	
歳入総額	21,335,943 千円	
歳出総額	21,087,172 千円	
実質収支	161,038 千円	



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

>>> **財政力指数 [0.64]**
財政力指数は、類似団体の平均を0.01ポイントわずかに下回っているものの、県下の平均を0.12ポイント上回る結果となっています。今後とも市税の課税客体の的確な補足及び徴収体制の強化を図るとともに、企業誘致を積極的に推進し、徴収率の向上及び市税収入の確保に努めていきます。

>>> **経常収支比率 [96.4%]**
経常収支比率は、類似団体の平均を2.9%ポイント上回っています。前年度比1.0ポイント減ではありますが、三位一体の改革の影響による地方交付税の減少、退職者の急増・児童手当等の増による人件費・扶助費が増加したことにより、財政構造の弾力性はここ数年で大幅に低下しています。今後は、市の集中改革プランに基づき、特殊勤務手当等の見直し・定員管理等に努め経費の削減に努めていくとともに、企業誘致を積極的に推進、市税徴収率向上に努め自主財源の確保を行ってまいります。

>>> **実質公債費比率 [12.6%]**
実質公債費比率は、類似団体の平均を1.6%ポイント下回っています。今後とも必要性の高い事業の実施に努め、地方債管理を行なうことにより、現在の水準を維持してまいります。

>>> **人口1人当たり地方債現在高 [238,583円]**
人口1人当たり地方債現在高は、類似団体の平均を大きく下回っています。今後とも必要性の高い事業の実施に努め、適切な地方債管理を行なうことにより、現在の水準を維持してまいります。

>>> **ラスパイレ指数 [102.1]**
ラスパイレ指数については、給与体系の見直しが遅れ、類似団体中最も高い水準となっています。今後は、国及び他の地方公共団体の事情を考慮しながら、各種手当の見直し・廃止、給与等の適正化に努めてまいります。

>>> **人口1,000人当たり職員数 [5.98人]**
人口1,000人当たり職員数は、類似団体の平均を下回っており、全国的にも低い水準にあります。平成16年より職員定員適正化計画に基づき、10年で約10% (50名程度) の削減を目標としており、今後とも定員適正化計画に基づき職員数の削減に努めてまいります。

>>> **人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [89,227円]**
類似団体及び県下市町村平均と比較して、人件費・物件費等の適正度は高い水準を維持しています。今後とも人件費及び物件費の適正化に努めてまいります。